

森のたより



2019年10月1日発行
発行者：流山市立森の図書館
指定管理者：株式会社すばる
住所：流山市東深井991
電話：04-7152-3200



今年も読書週間がやってきました。

今年も読書週間（10月27日～11月9日）の標語は、

「おかえり、しおり 葉の場所で待ってるよ」

本を読む人にとって葉の場所を開く瞬間は、まるで自宅に帰ったかのように心やすらぐひと時ですね。

森の図書館では、読書週間にあわせて葉の配布を行ないますので、ぜひお持ち帰りいただいて、「葉の場所」をつくってくださいね。

また、ほかにもブックカバーの配布と、汚破損本の展示を行う予定です。ぜひお立ち寄りください。



12/1 は 映画の日！

流山市の関連映画と、ノベライズ本をご紹介します。

12月7日(土)、流山市文化会館では、映画「こどもしよくどう」の無料の上映会と、日向寺 太郎監督のお話を聴ける「人権フェスティバル」が開催されます。

12月4日から始まる人権週間に合わせて開催されるもので、映画「こどもしよくどう」のストーリーから、育児放棄など子どもの人権にスポットを当てて企画されました。

撮影は、江戸川台小学校をはじめ流山市内の公園などで行われ、流山市民のエキストラも数多く出演されている「文化庁文化芸術振興補助金」を得た作品で、エンドロールには撮影協力として流山市社会福祉協議会や江戸川台小学校などの名も映写されます。楽しみですね。



こどもしよくどう

原作/足立 紳
文/ひろはた えりこ
汐文社 913/ヒロ

あらすじ

車の中で寝泊まりし、行方不明の親を待ち続ける姉妹。おずおずと手を差し伸べる主人公…。豊かに見える日本社会のひずみを受け、満足に食事をとることのできない子どもたちがいる。苦しい状況の中にも光を見つけ、前を向いて歩き出す子どもたちと支援者たちを描く。映画『こどもしよくどう』（監督：日向寺 太郎）のノベライズ単行本。

